

幸せの黄色いチラシ

皆様の快適生活のお役に立つ情報をお届けします。(2019年1月7日発行) 第156号



皆様、明けましておめでとうございます。本年もオプトコバヤシ並びに幸せの黄色いチラシをどうぞよろしくお願い申し上げます。さて昨年の暮れは「年末寒波」の襲来で除雪作業や雪下ろしに明け暮れた方も多いと思いますが、店長小林は朝に夕に駐車場の除雪をしたおかげでベルトも緩み（気のせい? (^_^;)）晩酌も美味しくいただきました。

さて、今年は5月に年号も変わり、来年7月開催の東京オリンピックに向けて日本全体が盛り上がる事でしょう。そしてめざましく進歩する社会環境や技術革新による新商品やサービスの登場。当店も日々精進し、皆様の「見える！聞こえる！心地よい！」快適生活のお手伝いと情報提供を今まで以上に続けて参りますので、変わらぬご愛顧のほどお願い申し上げます。



大人気のハズキルーペ (メガネの上からも掛けられます)

「これ、欲しかったんだよ～ ここで売ってて良かった！」

皆様にそう言っていていただいております。大好評のメガネ形ルーペ

＜創立99年の国産メーカーの安心保証＞



●1.6倍の拡大率 ●週刊誌2ページ分の広い視野 ●レンズ10年保証 ●一年自損保証 (1回のみ無料交換) ●鼻パッド2年交換無料

価格10,980円 (税込) カラーも選べます



ちょっとコーヒブレイク

「タイヤチェーンの装着義務化」



信濃町インターチェンジと新潟の新井パーキングエリアの25キロ間が大雪山の際にチェーンの装着を義務付ける対象として全国の13区間のうちの1つになりました。選定基準は過去に立ち往生が発生している箇所や、勾配5% (100m進むと5m上がる/下がる) 以上の峠道が中心とのこと。

規制導入のきっかけは昨年2月に北陸地方を襲った豪雪により、国道8号が最大46km、2日と17時間にわたり渋滞したこと。そういえば平成26年の冬も軽井沢で大渋滞し、昨年同様多くの美談が報じられましたよね！



ところで、お客様の中には「スタッドレスが発売されて以降チェーンなんかしたことない」「チェーン自体どこにしまったかわからない」「出てきたとしても付け方忘れた(笑)」←(それじゃダメじゃん(^_^)) 皆さん！大雪後は不要不急の外出を控えましょうね！



従来からの課題であった累進レンズの「ゆがみ」や「ぼやけ」の原因を徹底的に排除

店長小林も使ってびっくり！遠近両用レンズ「ニコンA1」

世界のニコンが「パートナーショップ」と認めた店舗だけの取り扱いレンズです。遠近両用眼鏡が初めての方、今まで遠近両用レンズになじめない方にも自信をもってお勧め！



(左右一組 税込み27,000円～)

- ① 枠の形状と、お客様が実際に装用された際の状態を調べます。
- ② メガネ度数に①のデータを添えて発注すると、ゆがみを抑えた自然な見え方の貴方だけのレンズをコンピュータが設計します。
- ③ できあがったメガネは当店が取り組んでいる「3Dフィッティング」で最適な掛け心地に調整します。ここで装用感に差が出ます。



(画像は3D調整の師匠「横田先生」のHPより)

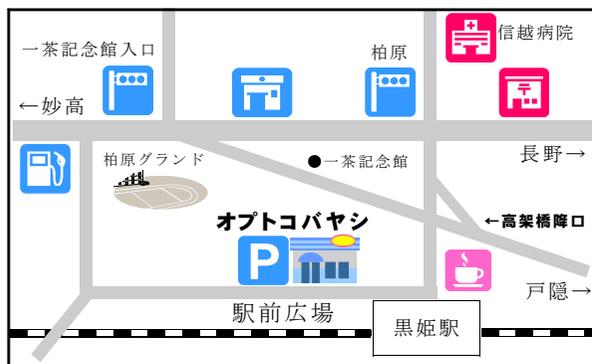
世界初の「電池のいらない充電タイプ」補聴器が大好評！

電池交換が不得手な方・掃除や乾燥等のメンテナンスを面倒に思われる方におすすめ！

置くだけ充電タイプ新登場!!



- ① 充電器に置くと電源OFF、取り出すとON
- ② 4時間でフル充電し、26時間稼働します。
- ③ 充電と同時に耳栓の乾燥も自動で行います。
- ④ 汗や湿気、埃にも強い強力な防水設計！



ブログ



ご利用下さい！「消防団員カード」「子育て家庭優待パスポート(トキっ子くらぶもOK)」協賛店です。

メガネ・補聴器・時計・時計修理と電池バンド交換・宝飾品・指輪のサイズ直しとリフォーム



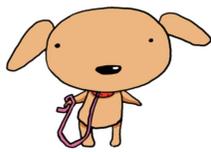
オプトコバヤシ

身体障害者自立支援法指定店 日本補聴器販売店協会正会員 「SS級認定眼鏡士」テクノエイド協会「認定補聴器技能者」の店

営業時間：8時～19時 定休日：毎週 日曜日 ☎ 026-255-2452

メガネ・補聴器共に少々お時間を頂戴し、丁寧な調整を心がけております。初めてのご来店の際にはお待ちせしないためにも、事前の電話予約お勧めいたします。

裏面には「調光レンズ・サングラス」と、私的コラム「オプト散歩」を掲載。ぜひご覧下さい！➡



オプトコバヤシの店長が、地道に足で稼いだ地域情報やニュースをお届けします。

オプト散歩

「ピーターの謎が解けました！」

この季節、妙高市の方と雪や除雪の話をしていて、しばしば登場する単語が「ピーター」。最初は何だろうと思って聞いていましたが「昔と違い、今はピーターがあるから楽」「買い換えたピーターは馬力があるからよく飛ぶ」などから除雪機のことと理解するも「ピーター」ってどこのメーカー？信濃町ではあまり聞いたことないけれど新潟県ではきっと有名なんだろうな！と思っていました。しかし「ピーター」が家庭用に限らず公道を除雪する大型の除雪車をも指す名称だと知るや、私の探究心にメラメラと火がつかしました（笑）



そこで早速インターネットで”除雪機 ピーター”で検索してみると、上越市にある「上越タウンジャーナル」様のホームページ (<https://www.joetsutj.com/>) で、8年前に掲載された「ピーターの謎がわかった！」の記事が一番目にヒットし、その中に詳しく説明されていたので、担当者様の許可を得て一部を転載させていただきます。



ロータリー除雪機のことを新潟県上越地方では「ピーター」と呼ぶ。だが、上越地方以外ではまったく通用しない「新方言（ネオ方言）」である。（中略）上越地方でロータリー除雪車をピーターと呼ぶのは、酒井重工業が「サカイ・ピーター」と書かれたカタログで売り込みを図ったことに起因するとみていいだろう。登場してから50年近い年月の間に、ピーターは道路除雪用だけではなく、家庭用の小型ロータリー除雪機のことにも指すようになった。家庭用のみをピーターと呼ぶ人もいる。



内容をまとめると、昭和38年のサンパチ豪雪以降、除雪・防雪対策が重視されるようになり、昭和39年にスイスの「ピーター社」と技術提携をした「サカイ重工業」がロータリー除雪車の製造を開始し、その名称「サカイ・ピーター」がピーターの語源だそうです。「空高く雪を吹き飛ばす様子は珍しく、子供たちに大人気だった」と記録されていますので、その名は一気に広まったことでしょう。

ところで、なぜ「ピーター」の名称が地域限定なのか？ 私なりに考えてみました。私の住む信濃町にも砕いた雪をブローで吹き飛ばすロータリー式除雪車はあるのでしょけれど、個人的によく見かけるのは歩道用の小型タイプ。そして私が子供の頃から見慣れた除雪車は排土（雪）板で雪を前に押し除雪していくキャタピラ式の除雪ドーザーや車輪走行のタイヤホイールローダー。だからサカイ・ピーターの存在は知りませんでした。（右の写真は黒姫駅構内でのタイヤホイールローダーの作業風景。雪は構内の「雪押し込み場所」に積まれ、後日トラックで排雪されます）

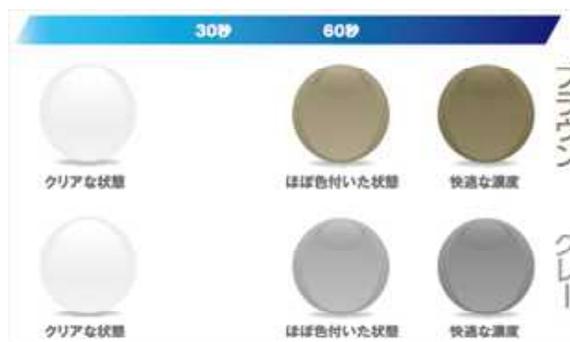


雪質の違いによるものなのか、あるいは道路幅や町並みを考慮してなのか、理由はわかりませんが稼働している除雪車の歴史が名称（通称名）の違いではないでしょうか？ ちなみに私は道路用除雪機のことを小さい頃はブルドーザーの略で「ブル」。タイヤホイールローダーが主の今は単に「除雪車」と呼び、家庭用の小さいのは「青い除雪機」かな？

雪国の必需品「調光レンズ・サングラス」



紫外線量に応じてほぼ透明な状態から濃い色に変化して眩しさを防ぎます。UVカット率も99%以上ですので、眼病予防にもおすすめのレンズです。



あっという間に色が変わります。紫外線を浴びると、ほぼ無色から1分以内に既定の濃度まで変化し、紫外線と眩しさから眼を守ります。眼に有害な紫外線を99%以上防ぐだけでなく、眩しい光をカットするので眼の負担を軽減します。

左右一組 ¥16,200~(税込・レンズ代のみ)



お客様の話をしっかり伺い、「見えない・疲れる・二重に見える」等、日常のご不便を解消する快適なメガネを、SS級認定眼鏡士の店長小林が心を込めてお作りしております。どんなことでもお気軽にご相談下さい。

< 当店こだわりの測定や調整 >



お客様の、見えないご不自由改善のため、機械だけに頼らず様々な方法を用いて「目の状態」や「目の使い方」を測定します。



特に心がけているのは左右の目のバランス調整。片方の目に負担がかからないことを念頭に度数をお選びいたします。



自動車の二種免許や大型免許の取得・更新時に必要な深視力（遠近感）のチェックのための「三桿計」も導入しました。

左右一組 8,640円からのレンズ交換。メガネも一式15,750円のセット価格よりご用意しております！（保証付）

【B面コラム】昨年の暮れは「年末寒波」の襲来で、我が家の屋根にも50センチ以上の雪が積まりました。しかし昼夜問わず除雪車が稼働して雪国の生活を守ってくれました。関係者の皆さんに心から感謝です。